

IV 事業者向けアンケート調査

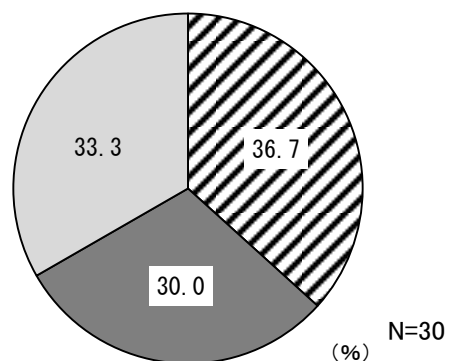
1 サービスの実施状況

1-1 サービス提供の状況

問2 現在、貴法人におけるサービス提供はどのような状況ですか。(○は1つ)

- サービス提供の状況については、「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」(36.7%)が「利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある」(30.0%)を上回っています。また、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」は33.3%となっています。

【サービス提供の状況】



- ▨ 職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない
- 利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある
- サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている

1-2 介護サービスの実施状況と実施予定

問3 貴法人における介護サービスの現在の実施状況と今後の実施予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。（「現在」実施していない場合「今後」もお答えください）

- 介護サービスの現在の実施状況をみると、現在実施しているサービスは「通所介護（デイサービス）」（52.8%）、「通所型サービスA」（41.7%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（38.9%）、「訪問型サービスA」（27.8%）が高くなっています。
- 今後の実施予定をみると、実施予定のあるサービスは「訪問介護」「訪問型サービスA」の回答があり、実施を検討中のサービスは「（介護予防）認知症対応型通所介護」（11.1%）、「（介護予防）訪問看護」（8.3%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（5.6%）などとなっています。

問3 介護サービスの現在の実施状況

	件数（全体）	訪問介護（ホームヘルプサービス）	浴（介護予防）訪問入	護（介護予防）訪問看	ハ（介護予防）訪問リ	養（介護予防）居宅療	通所介護（デイサービス）	ハ（介護予防）通所リ	所（介護予防）短期入	所（介護予防）短期入	設（介護予防）特定施	具（介護予防）福祉用	具（介護予防）福祉用	型定期巡回・随時対応	夜間対応型訪問介護
（現在）実施している	36 100.0	14 38.9	-	5 13.9	3 8.3	1 2.8	19 52.8	4 11.1	4 11.1	3 8.3	2 5.6	5 13.9	5 13.9	-	-
（現在）実施していない	36 100.0	17 47.2	27 75.0	22 61.1	24 66.7	26 72.2	13 36.1	23 63.9	24 66.7	24 66.7	26 72.2	23 63.9	23 63.9	27 75.0	28 77.8
（今後）実施予定	36 100.0	1 2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（今後）実施の予定はない	36 100.0	15 41.7	26 72.2	19 52.8	23 63.9	26 72.2	11 30.6	23 63.9	23 63.9	24 66.7	26 72.2	23 63.9	23 63.9	24 66.7	25 69.4
（今後）検討中	36 100.0	1 2.8	1 2.8	3 8.3	1 2.8	-	1 2.8	-	1 2.8	-	-	-	-	2 5.6	1 2.8

	件数（全体）	地域密着型通所介護	型（介護予防）認知症対応	能（介護予防）小規模多機	型（介護予防）認知症対応	者生活介護	地域密着型特定施設入居	施設	地域密着型介護老人福祉	看護小規模多機能型居宅	介護（複合型サービス）	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	医療施設（介護療養型	訪問型サービスA	通所型サービスA	その他
（現在）実施している	36 100.0	5 13.9	-	-	2 5.6	1 2.8	1 2.8	1 2.8	-	2 5.6	2 5.6	2 5.6	2 5.6	10 27.8	15 41.7	2 5.6	
（現在）実施していない	36 100.0	23 63.9	27 75.0	27 75.0	25 69.4	26 72.2	26 72.2	27 75.0	25 69.4	25 69.4	25 69.4	25 69.4	25 69.4	19 52.8	15 41.7	-	
（今後）実施予定	36 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 2.8	-	-	
（今後）実施の予定はない	36 100.0	21 58.3	22 61.1	26 72.2	23 63.9	24 66.7	25 69.4	26 72.2	24 66.7	24 66.7	24 66.7	24 66.7	24 66.7	16 44.4	13 36.1	-	
（今後）検討中	36 100.0	1 2.8	4 11.1	-	1 2.8	1 2.8	-	-	-	-	-	-	-	1 2.8	1 2.8	-	

1-3 介護サービスの利用者数及び利用回数の状況

問4 貴法人で実施している事業について、利用者数及び利用回数の状況について、各項目で該当するものに○をつけてください。

- 現在実施している事業の利用者数の状況を10件以上回答があったサービスについてみると、訪問介護は増加傾向と減少傾向が同率（横ばい）で、通所介護・訪問型サービスA・通所型サービスAは減少傾向が増加傾向を上回っています。
- 利用回数の状況を10件以上回答があったサービスについてみると、訪問介護・通所介護は増加傾向が減少傾向を上回り、訪問型サービスAは増加傾向と減少傾向が同率（横ばい）、通所型サービスAは減少傾向が増加傾向を上回っています。

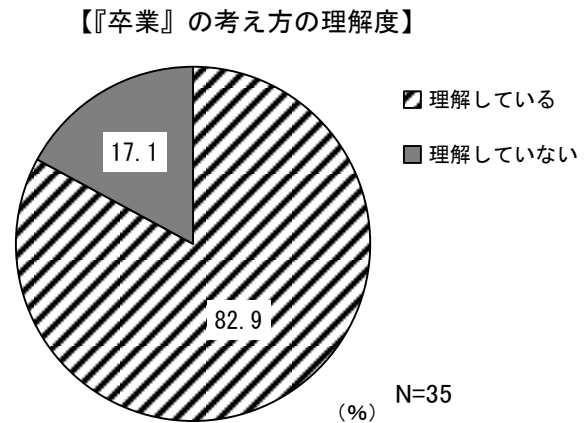
	問4 実施事業の利用者数の状況						問4 実施事業の利用回数の状況					
	件数	増加傾向	横ばい	減少傾向	増減つたたり	その他	件数	増加傾向	横ばい	減少傾向	増減つたたり	その他
訪問介護（ホームヘルプサービス）	14	4	4	4	2	-	14	5	5	1	3	-
	100.0	28.6	28.6	28.6	14.3	-	100.0	35.7	35.7	7.1	21.4	-
（介護予防）訪問入浴介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（介護予防）訪問看護	5	1	3	1	-	-	5	1	3	1	-	-
	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-
（介護予防）訪問リハビリテーション	3	-	1	1	1	-	3	-	2	1	-	-
	100.0	-	33.3	33.3	33.3	-	100.0	-	66.7	33.3	-	-
（介護予防）居宅療養管理指導	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
通所介護（デイサービス）	17	3	6	4	4	-	16	4	9	2	1	-
	100.0	17.6	35.3	23.5	23.5	-	100.0	25.0	56.3	12.5	6.3	-
（介護予防）通所リハビリテーション	3	-	1	2	-	-	3	-	2	1	-	-
	100.0	-	33.3	66.7	-	-	100.0	-	66.7	33.3	-	-
（介護予防）短期入所生活介護	4	-	3	1	-	-	4	-	3	1	-	-
	100.0	-	75.0	25.0	-	-	100.0	-	75.0	25.0	-	-
（介護予防）短期入所療養介護	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
（介護予防）特定施設入居者生活介護	2	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	100.0	50.0	50.0	-	-	-
（介護予防）福祉用具の貸与	5	-	3	1	1	-	5	-	3	1	1	-
	100.0	-	60.0	20.0	20.0	-	100.0	-	60.0	20.0	20.0	-
（介護予防）福祉用具の販売	5	1	1	2	1	-	5	1	1	1	2	-
	100.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域密着型通所介護	4	-	2	-	2	-	4	-	2	1	1	-
	100.0	-	50.0	-	50.0	-	100.0	-	50.0	25.0	25.0	-
（介護予防）認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（介護予防）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（介護予防）認知症対応型共同生活介護	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
地域密着型介護老人福祉施設	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護老人福祉施設	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
介護老人保健施設	2	-	1	1	-	-	2	-	2	-	-	-
	100.0	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
介護医療院（介護療養型医療施設）	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
訪問型サービスA	10	1	6	2	1	-	10	1	7	1	1	-
	100.0	10.0	60.0	20.0	10.0	-	100.0	10.0	70.0	10.0	10.0	-
通所型サービスA	15	1	7	3	3	1	14	-	11	2	-	1
	100.0	6.7	46.7	20.0	20.0	6.7	100.0	-	78.6	14.3	-	7.1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2 介護予防・日常生活支援総合事業等について

2-1 市の総合事業における『卒業』の考え方について

問5 津島市の総合事業において、『卒業』の考え方を理解していますか。(○は1つ)

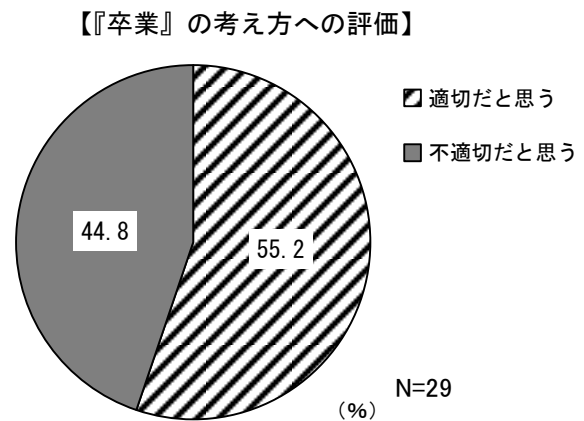
- 市の総合事業における『卒業』の考え方については、「理解している」が82.9%を占めています。



(問5で「1 理解している」を選んだ方に)

問5-1 『卒業』の考え方が適切だと思いますか。(○は1つ)

- 『卒業』の考え方を理解している事業者に考え方が適切かどうかたずねたところ、「適切だと思う」が55.2%、「不適切だと思う」が44.8%となっています。



(問5-1で「2 不適切だと思う」を選んだ方に)

問5-2 『卒業』の考え方が不適切だと思う理由は何ですか。ご自由にお書きください。

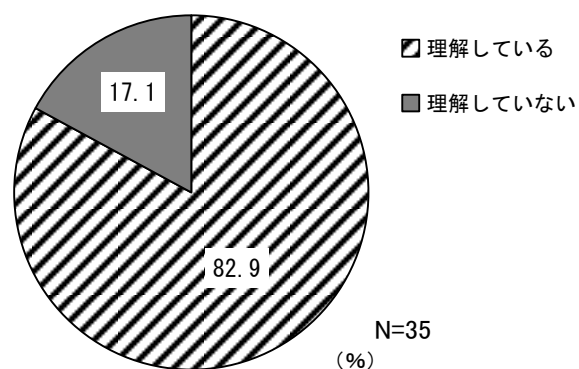
- 『卒業』の考え方が不適切だと思う理由については、下記のような意見をいただきました。
 - ・卒業後のフォローアップの整備が不十分。(4件)
 - ・卒業後、交流や外出がなくなり、状態の低下が不安である。(3件)
 - ・「卒業」の基準が不明瞭であり、判断が難しい。(3件)
 - ・6か月では期間が短く、一律に目標とできるかも疑問。(2件)
 - ・利用したい理由が様々である。
 - ・利用者は高齢化するので、現状維持がやっとだと思う。
 - ・中味が充実しておらず、専門性がない。
 - ・利用者がどのようにしたら在宅生活が継続できるか、介護度が上がらずにいけるか、分けて考えることが大切。

2-2 市の総合事業におけるサービスの内容について

問6 津島市の総合事業において、サービスの内容を理解していますか。(○は1つ)

- 市の総合事業におけるサービスの内容については、「理解している」が82.9%を占めています。

【総合事業におけるサービス内容の理解度】

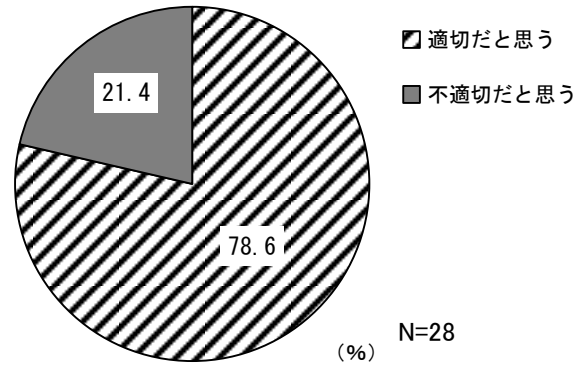


(問6で「1 理解している」を選んだ方に)

問6-1 サービスの内容が適切だと思いますか。(○は1つ)

- サービスの内容を理解している事業者
に内容が適切かどうかたずねたところ、
「適切だと思う」が78.6%、「不適切だと思
う」が21.4%となっています。

【総合事業のサービス内容への評価】

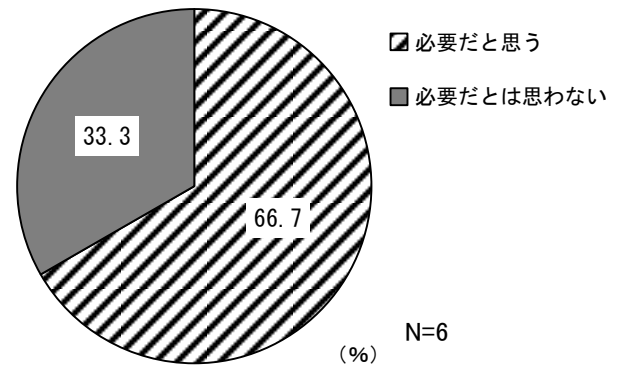


(問6-1で「2 不適切だと思う」を選んだ方に)

問6-2 従来型サービスが必要だと思いますか。(○は1つ)

- サービスの内容が不適切だと思う事業
者に従来型サービスが必要かどうかたず
ねたところ、「必要だと思う」が66.7%、
「必要だとは思わない」が33.3%となっ
ています。

【従来型サービスの必要性について】



(問6-1で「2 不適切だと思う」を選んだ方に)

問6-3 どのようなサービスが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

- どのようなサービスが必要かについては、下記のような意見をいただきました。

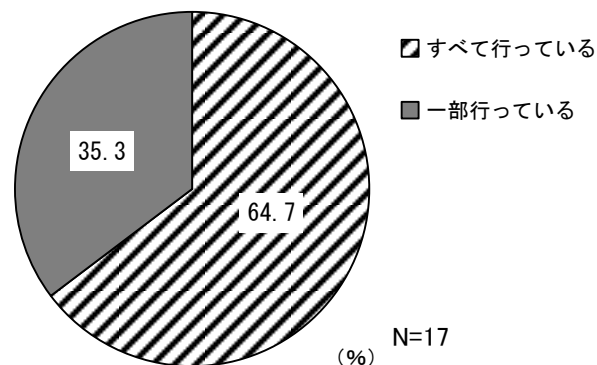
- ・ 訪問+通所の組み合わせにより、在宅での課題をよりクリアできるサービスが必要。
- ・ 外出支援サービス。
- ・ 通所Aを卒業してBのサロンに参加するための交通手段や、参加継続のための支援者。
- ・ 介護給付は5名単位の人員配置であり、介護給付と予防給付の同一時間提供では、予防給付も5名の定員設定が求められ、1~2名の総合事業枠は現実的ではない。

2-3 総合事業の利用における利用者との目標の共有の状況

問7 総合事業の利用について利用者と目標を共有していますか。(○は1つ)

- 総合事業の利用における利用者との目標の共有については、「すべて行っている」が64.7%、「一部行っている」が35.3%で、「行っていない」との回答はありませんでした。

【総合事業の利用における利用者との目標の共有】

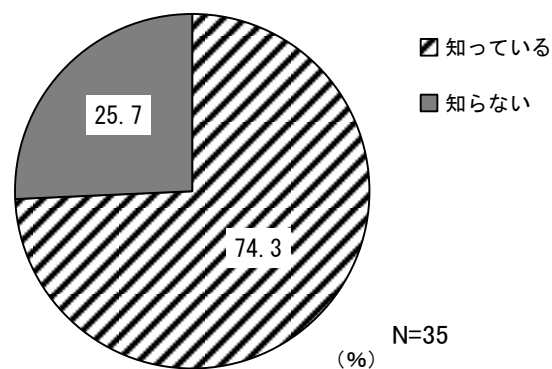


2-4 生活支援コーディネーターの相談機能の理解度

問8 社会資源に関する相談を生活支援コーディネーター（社協）に相談できることを知っていますか。(○は1つ)

- 生活支援コーディネーター（社協）の相談機能については、「知っている」が74.3%となっています。

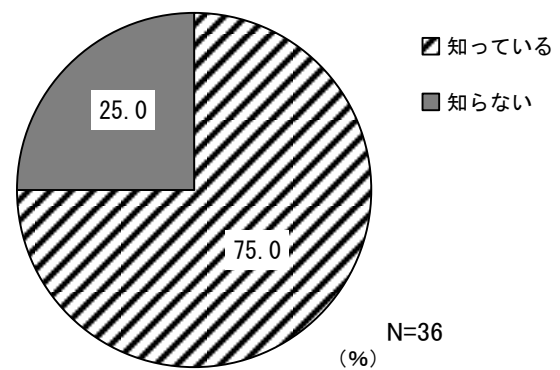
【生活支援コーディネーターの相談機能の理解度】



2-5 在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）の知名度

問9 在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）を知っていますか。（○は1つ）

- 在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）については、「知っている」が75.0%となっています。



2-6 多職種の連携についての意見

問10 多職種の連携について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

- 多職種の連携については、下記のような意見をいただきました。
 - ・多職種連携は必要かつ重要だと思う。（4件）
 - ・サービス支援で利用者に関わる日数は少ないため、多職種で連携して生活を支援する必要がある。
 - ・それぞれの職種で利用者を見る視点は違うので、多方面でサポートできるのでいいと思う。
 - ・海部医療圏はあまさぼによる取り組みがしっかりされており、多職種連携も他のエリアよりも強いと感じる。研修や勉強会の機会も多く、広告や宣伝がより重要になる。
 - ・住み慣れた地域で終末ケアを受けるためには、多職種の連携や研修が不足していると思う。
 - ・事業所内ではできていることが、外部とはうまく機能していないことがある。
 - ・現状この近辺では多職種連携ネットワークとして電子連絡帳があるが、他県・市町村に比べ、まだつながりが弱いと思う。それぞれの役割もあるが、その役割を超えて話してもいいのか、疑問点も含めて話をしにくいところも電子連絡帳にはある。
 - ・現状として多職種との連携は取れているが、各職種から出席する担当者によって温度差を感じる時がある。各職種内で利用者主体であることを再認識し、徹底できたら良いと思う。
 - ・連携する機会がなく、誰が設定するのか不明。
 - ・障害の相談員も電子連絡帳に加わってほしい。あまさぼの存在によって連携が取りやすくなっている。

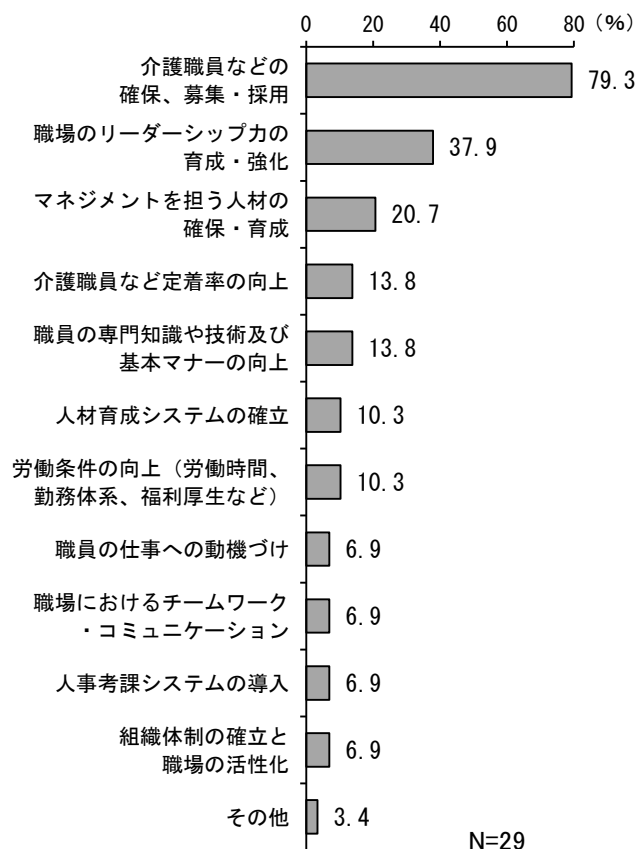
3 現在抱えている問題点について

3-1 人材マネジメント上、抱えている問題

問11 貴法人では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。(〇は3つまで)

- 人材マネジメント上、抱えている問題は、「介護職員などの確保、募集・採用」が79.3%で最も高く、次いで「職場のリーダーシップ力の育成・強化」(37.9%)、「マネジメントを担う人材の確保・育成」(20.7%)、「介護職員など定着率の向上」「職員の専門知識や技術及び基本マナーの向上」(ともに13.8%) などとなっています。

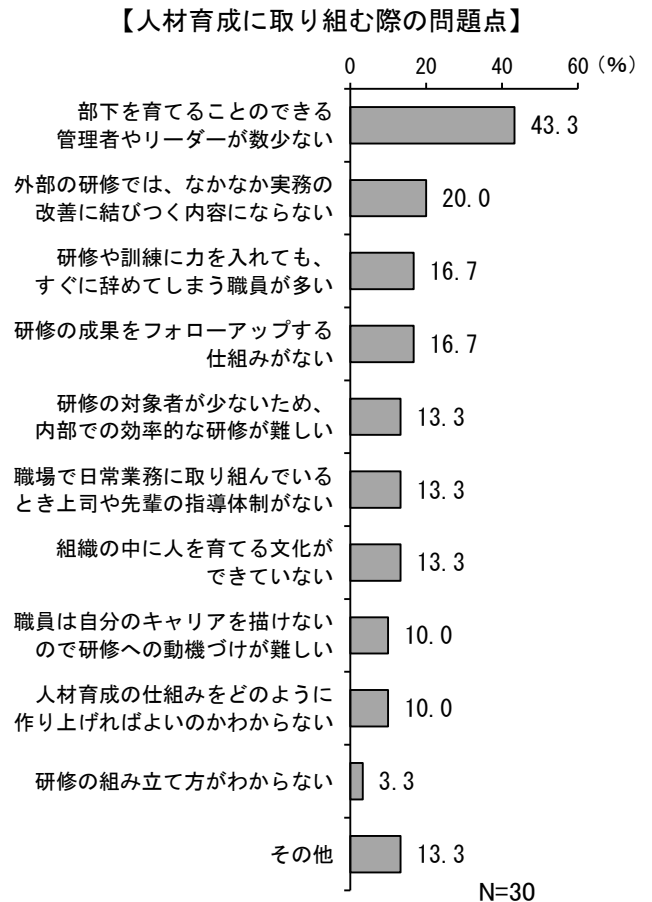
【人材マネジメント上、抱えている問題】



3-2 人材育成に取り組む際の問題点

問12 貴法人では、人材の育成に取り組んでいく時、どのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

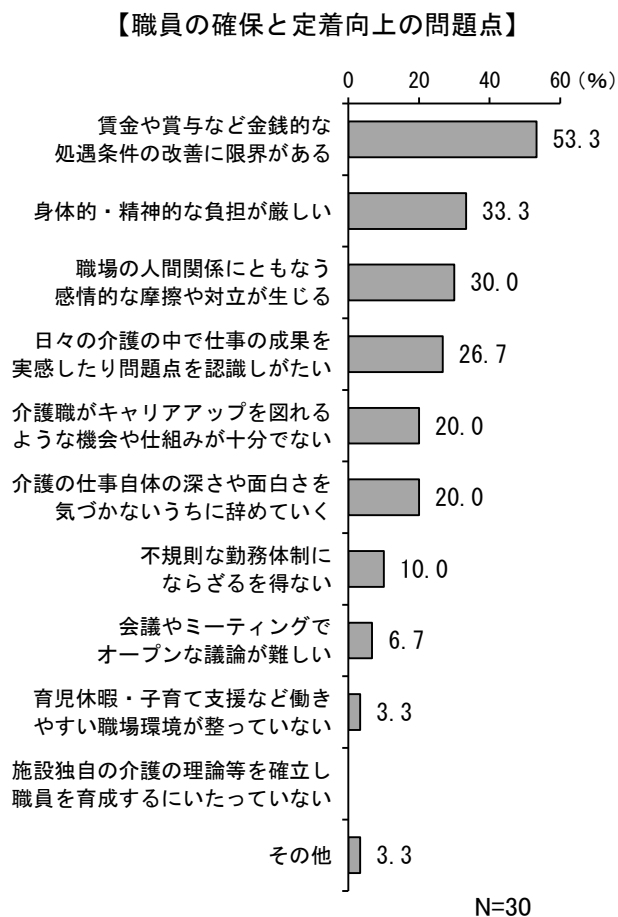
- 人材育成に取り組む際の問題点は、「部下を育てることのできる管理職やリーダーが数少ない」(43.3%)が最も高く、次いで「外部の研修では、なかなか実務の改善に結びつく内容にならない」(20.0%)、「研修や訓練に力を入れても、すぐに辞めてしまう職員が多い」「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」(ともに16.7%)などとなっています。



3-3 職員の確保と定着向上の問題点

問13 貴法人では、職員の確保と定着向上にはどのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

- 職員の確保と定着向上の問題点は、「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」(53.3%)が最も高く、次いで「身体的・精神的な負担が厳しい」(33.3%)、「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」(30.0%)、「日々の介護の中で仕事の成果を実感したり問題点を認識しがたい」(26.7%)などとなっています。



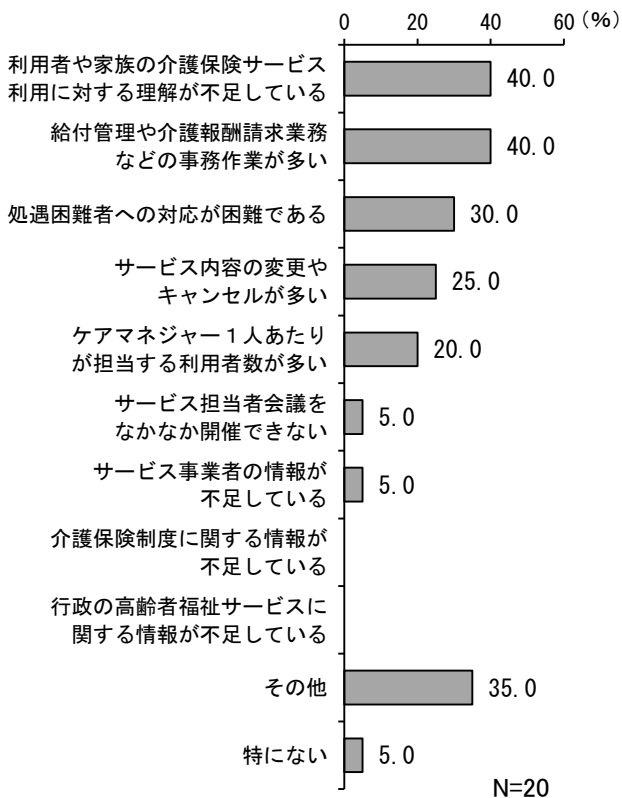
3-4 居宅介護サービス計画を作成する上での問題点

問14 <居宅介護支援事業所のある法人のみお聞きします。>

居宅介護サービス計画を作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

- 居宅介護サービス計画を作成する上での問題点は、「利用者や家族の介護保険サービス利用に対する理解が不足している」「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」がともに40.0%で最も高く、次いで「処遇困難者への対応が困難である」(30.0%)、「サービス内容の変更やキャンセルが多い」(25.0%)、「ケアマネジャー1人あたりが担当する利用者数が多い」(20.0%)などとなっています。

【居宅介護サービス計画を作成する上での問題点】

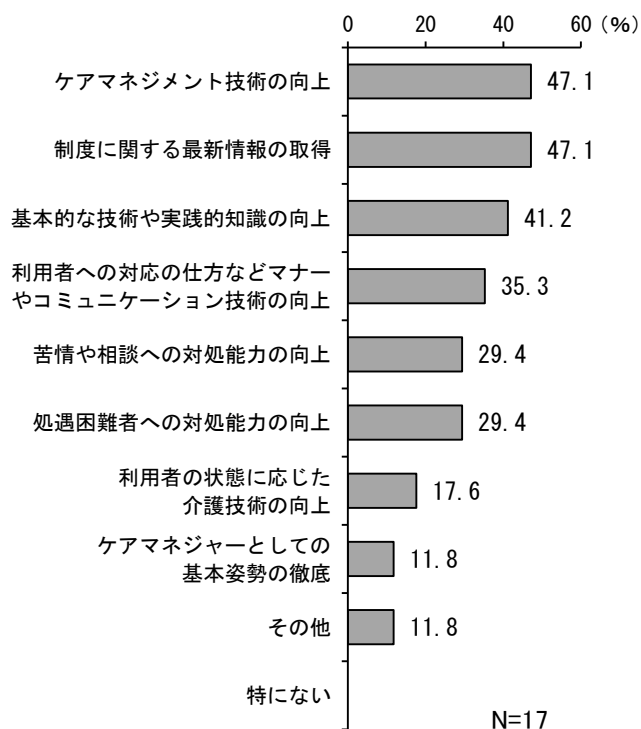


3-5 ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること

問15 <居宅介護支援事業所及び施設サービス事業所のある法人のみお聞きします。>
 貴法人では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、特にどのような点に重視して取り組んでいますか。(〇は3つまで)

- ケアマネジャーの質の確保等のために重視していることは、「ケアマネジメント技術の向上」「制度に関する最新情報の取得」がともに47.1%で最も高く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」(41.2%)、「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」(35.3%)などとなっています。

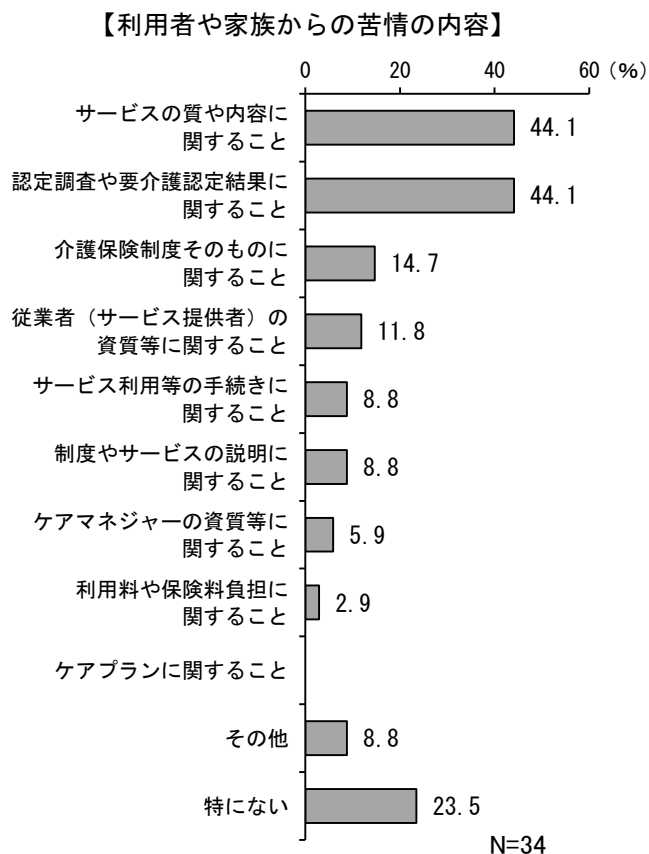
【ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること】



3-6 利用者や家族からの苦情の内容

問16 貴法人における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものをお答えください。(〇は3つまで)

- 利用者や家族からの苦情の内容は、「サービスの質や内容に関すること」「認定調査や要介護認定結果に関すること」がともに44.1%で最も高く、具体的な項目では次いで「介護保険制度そのものに関すること」(14.7%)、「従業者(サービス提供者)の資質等に関すること」(11.8%)の順で高くなっています。また、「特にない」は23.5%となっています。



3-7 介護・高齢者福祉についての意見

問17 その他、介護・高齢者福祉に関することでご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

- 介護・高齢者福祉については、下記のような意見をいただきました。
 - ・市としての地域づくりやACP等の啓発を具体的に提示し、住民の方へ介護や福祉にもっと興味や必要性を感じてもらえると、法人としても住民の方へより関わりやすくなる。
 - ・宅配弁当のボーダーレス化や他社の参入による競争で、品質の向上と利用者の選択の自由を確保させたい。
 - ・津島市は他市町村と違い常に窓口の方が非常に厳しいことが多い。サービス給付に関して役場に問題があっても、利用者からも役場からもケアマネに苦情が行き、それに辟易しているケアマネの方がとても多い。多職種連携を促す前に地域と市の連携を図るべきだと思う。
 - ・地域の発展に一層努力していきたい。
 - ・人員基準等の緩和などの見直しがあっても、最低賃金の底上げなどもあり、事業所の閉鎖なども聞くと先々が不安になることもある。法人規模や事業形態にもよるが、現実として、最終的に利用者にしわ寄せが行ってしまうのではと思う。何とか安心してもらいたいと考えながら踏ん張っている事業所・現場スタッフの存在に対してもっと目を向け、国が制度を作り進めないと、本当の「良い介護・福祉」の実現は難しいのではと思う。
 - ・賃金はどんどん上がって報酬は下がるばかり。閉鎖する事業所もあるが、続けていく困難に直面している。
 - ・ショートステイ中の食事形態や内容について、病院のような検査や専門職（ST）がないので、食べる力があってもムースやミキサーになってしまうことが多く、利用者にとってはとてもつらい状況になってしまう。ショートステイにもSTや管理栄養士との関わりがあれば、もっと利用者にとって安全に安心して利用してもらえと思う。
 - ・度重なる制度改正による介護報酬請求業務や給付管理業務など、事務量が多いと感じる。保管する書類の量も多くなり、管理も困難となっている。介護保険制度では質の高いケアマネジメントを目指すほど業務量が増えていくというジレンマがある。一定のルールは必要だが、事務量の削減と事務手続きの簡略化をお願いしたい。
 - ・要介護状態になっても、活躍し働ける場があると、介護保険にだけ頼らず、暮らしていけると思う。

